

土木学会原子力土木委員会 リスクコミュニケーション小委員会
第2回小委員会 議事録

1. 日時：2020年6月26日（金）9:30-11:30
2. 場所：Web会議（Zoom）
3. 出席者：奈良委員長、桑垣委員、中村委員、平川委員、堀口委員、松本委員、
松村幹事長
4. 配布資料
資料1 第1回リスクコミュニケーション小委員会議事録（案）（松村幹事長）
資料2 今年度活動についての検討資料（奈良委員長）
資料3 調査協力依頼文ほか（堀口委員）

5. 議事要旨

松村幹事長から第1回小委員会の議事録（案）が紹介された。1週間後までに意見がなければ承認されたものとし、学会のホームページに掲載する旨の連絡があった。

続いて、奈良委員長から、今年度の小委員会の活動の方向性についての提案があり、委員全員で、今年度活動の目的、方法、到達点（アウトプット）、次年度以降へ展開（小委員会活動全体のなかでの2020年度活動の位置づけ）の方向性をつめていった。

委員全員による検討の結果として、概ね以下のような方向性を得た。1) リスクコミュニケーションの主体は原子力土木委員会である。そこで、今年度のリスコミ小委員会の活動の目的は「原子力土木委員会として、今後どのようなリスクコミュニケーションを行っていくかの枠組みを導出すること」とする。2) これをエビデンスにもとづいて行うべく、デルファイ法を用いた調査を行う。調査対象者は原子力土木委員。3) 調査データを分析し、リスコミの枠組みを導出する。4) 結果は原子力土木委員会（ならびに土木学会）内で共有し、協働体制の構築につなげていく。5) うえの1)～4)と平行して、重要なステークホルダーとなる電力会社関係者や地域住民へのインタビュー調査についても方法と実査可能性を模索する。

年度内の今後のスケジュールとしては、調査項目の検討を十分に行ったうえで、デルファイ法は同一回答者に3回の調査を行うことから、2020年度はうえの2)のうち、第1回目の実査までを目標とする。これらの活動も含めて、今後も適宜小委員会を開催し、計画の調整や、収集情報の共有、意見交換を行う。

6. 今後の予定

次回は、2020年7月22日（水）13:00-15:00 Web会議（Zoom）の予定。

以上